

◎汚水排水施設の経費

管渠維持管理費

【 道水路管理課・下水道課・浄化センター 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 既存管路施設の機能維持を図り、流入汚水の処理を継続して、適正な施設機能の維持管理を行うため。

効果 既存管路施設の機能維持と延命及び処理の安定化、施設の自動化・省力化を図る。

【事業の内容】

(1) 管渠維持管理費

- ・管路施設内の堆積物の除去、伏越箇所の浮遊物・堆積物の除去・清掃や、蓋の不具合による振動・騒音の解消及び道路陥没の原因となる破損した取付管等の修繕や布設替えを行った。

(2) ポンプ場維持管理費

- ・汚水中継ポンプ場の適切な維持管理を行い、汚水の安定送水を図った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
211,304	203,004	177,537		25,467

主な支出内訳

・管渠維持管理費

汚水管渠等維持修繕料	7,592
汚水管渠等しゅんせつ委託料	56,999
市内各所マンホール蓋・受枠交換工事及び路面復旧工事請負費	4,662
地下埋設物移設等補償金	369

・ポンプ場維持管理費

光熱水費	63,635
ポンプ場等維持修繕料	31,535
電信料	1,196
電気定期点検等手数料	3,013
速度制御装置点検委託料	2,119
ポンプ場等しゅんせつ委託料	610
脱臭設備保守委託料	2,276
沈砂搬出等委託料	2,548

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 <input type="checkbox"/> 支援部門		都整-31 管渠維持管理費				
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	536	管渠維持管理費				
主管課	道水路管理課		関連課	河川課			
分野名	安全で快適な生活が送れるまち						
目標 (目標値)							
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	222千円	222千円	222千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	222千円	222千円	222千円			
	人員配置数	0.4人	0.5人	0.5人			
	人 件 費	3,608千円	4,592千円	4,702千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	3,830千円	4,814千円	4,924千円			
	市民1人当 りの経費	22円	27円	28円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 土地の賃借料を払っている公共下水道施設がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 特になし。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 継続して賃借料を支払っている。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 下水道用地としての買収も検討する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	現状のまま継続する。				
担当課長氏名:		道水路管理課長 稲葉 一男			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	現状のまま継続する。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-38 管渠維持管理費 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	536 污水管渠の修繕							
		536 補償事務							
主管課	下水道課	関連課	作業センター・七里ガ浜浄化センター(浄化センター)・山崎浄化センター(浄化センター)・道水路管理課						
分野名	下水道・河川								
目標 (目標値)	・污水管渠施設の適切な維持管理を行い、機能維持を図ります。 ・大雨時、污水本管が満管状態で使用できない水洗便所をできるようにします。								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
運営資源 状 況	決算値	69,769千円	65,250千円	68,812千円					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	69,769千円	65,250千円	68,812千円					
	人員配置数	1.2人	1.3人	1.2人					
	人件費	10,740千円	11,750千円	10,888千円					
協働の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費	80,509千円	77,000千円	79,700千円	処理人口				
	市民1人当 りの経費	456円	438円	455円	18年 168,736人				
	対象者1人 当りの経費	473円	453円	472円	19年 169,886人				
					20年 170,233人				
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※				
						※妥当性の評価			
						① 必要性なし			
						② 民間			
						③ 国・県			
						④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
管渠浚渫延長	◎	目標値	実数	実数	32,200	32,000			
		実績値	29,180	33,324					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
通気管設置件数	◎	目標値	実数	実数	2	2			
		実績値	2	2					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
夜間・休日の苦情処理件 数	◎	目標値	実数	実数					
		実績値	18	7					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値) 19年度の管渠分									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市
維持管理費(百万円)	5,038	1,182	652	166	283	573	149	458	47
処理区域人口(千人)	3,576.6	1,331.1	415.9	244.2	169.9	375.5	157.1	219.5	60.1
対象者一人当たり(円)	1,409	888	1,568	680	1,666	1,526	948	2,087	782
相模原市	三浦市	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市	綾瀬市
468	4	115	240	167	136	325	33	18	61
654.4	16.3	125.1	193.3	202.4	74.0	120.7	123.2	26.9	75.1
715	245	919	1,242	825	1,838	2,693	268	669	812

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・道路内を横断している取付管の修繕工事の際に、破損状態から他企業の道路掘削工事により壊されていると思われる状況がある。 工事後の処置において粗雑に埋め戻し等を行なったため、詰りに至ったものであると推察される。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・事後処置の適正化を図るため、工事施工照会の提出時に注意を促すとともに、掘削範囲内に破損等を発見した際には必ず市に連絡を入れるようお願いした。 夜間の場合には、応急処置を施し写真(事前・事後)に記録し、速やかに連絡するようお願いしている。 また、現場調査等の際に道路掘削を発見した場合には、現場で注意を促した。  ・前年度未解決の課題であった管理体制については、作業センターとの連絡を密にし、補修箇所の現地立会いを行って修繕方法を検討する等、より効果的な補修対応に努めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 他企業の道路占用工事において、掘削範囲内に破損等を発見した際には必ず市に連絡を入れるようお願いしてきたが、補修のため工事を中断する等の理由から、なかなか協力が得られない状況である。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 各企業者に注意を促すとともに、補修をその工事業者に対処してもらう場合の原材料の支給について、作業センターに協力してもらう。 また、工事施工照会のあった工事現場のパトロールを実施していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	汚水管渠等の浸漏や緊急補修・維持修繕工事等については、既存管路施設の機能維持を図るために今後も継続し、より一層の市民サービスに努める。				
一次評価(課長評価)		下水道課課長代理 伊東 弘善			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	下水道施設の機能を正常に保つことは必要不可欠であるため、今後も適切な維持管理を行なう。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-43 管渠維持管理費 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1252	ポンプ場維持管理事業						
主管課 分野名	七里ガ浜浄化センター(浄化センター)			関連課	下水道課、都市整備総務課				
目標 (目標値)	汚水中継ポンプ場6箇所、低地排水ポンプ場45箇所の機能維持を確保する。 (汚水送水能力の確保)								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
	水洗化人口	70,348人	70,383人	70,434人					
運営資源 状 況	決算値	106,392千円	115,207千円	96,078千円					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	106,392千円	115,207千円	96,078千円					
	人員配置数	1.5人	1.5人	2.0人					
	人件費	13,380千円	13,425千円	17,981千円					
事務事業 運営経費	協働の パートナー								
	総事業費	119,772千円	128,632千円	114,059千円					
	市民1人当 りの経費	679円	731円	652円					
	対象者1人 当りの経費	1,703円	1,828円	1,619円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)		
汚水1㎡当りの送水コスト(円/㎡)	○	目標値	9.5円/㎡	9.5円/㎡	9.5円/㎡	9.5円/㎡	9.5円/㎡	9.5円/㎡	
		実績値	11.1円/㎡	10.2円/㎡					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	逗子市	三浦市	単位
ポンプ場維持管理費	1,563	1,051	419	140	605	34	43	7	百万円/年
日平均流入汚水量	1369.0	484.7	163.9	58.0	137.0	31.7	23.2	3.9	千㎡/日
送水コスト	3	6	7	7	12	3	5	5	円/㎡
団体名	秦野市	伊勢原市	綾瀬市						単位
ポンプ場維持管理費	18	86	20						百万円/年
日平均流入汚水量	31.9	21.5	19.0						千㎡/日
送水コスト	2	11	3						円/㎡

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)西部ポンプ場裏山崖の崩落対策。 (2)大雨時の下水流入量の増加。 (3)維持管理経費の削減。 (4)各ポンプ場の老朽化対策。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)西部ポンプ場裏山崖の崩落防止対策の工事を実施した。 (2)大雨時の下水流入量の増加対策として、東部ポンプ場の送水能力を改善するため2台運転できるようシーケンスの組み替えを行った。 (3)維持管理経費の削減のため、西部及び中部ポンプ場の汚水ポンプのメカニカルシールを無注水型に交換し上水使用量の削減を図った。 (4)各ポンプ場の老朽化対策として、七里ガ浜ポンプ場の改築設計を実施した。(中期実施計画事業で計画的に改築更新を行う。)
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)維持管理費の削減 (2)改築更新まで老朽化した施設の維持に万全を期す。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)施設の運転管理は鎌倉市に適した包括的民間委託を検討する。 (2)汚水中継ポンプ場の機械・電気設備の改築更新を補助事業で計画的に実施する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設機能の確保に努め、適正な維持管理を実施する。</li> <li>集中監視方式の導入を図る。</li> <li>包括的民間委託を導入し、維持管理経費の削減を図る。</li> </ul>		
担当課長氏名:	浄化センター所長 原 秀広		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	包括的民間委託を導入し、引き続き適正な維持管理に努める。		
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-47 管渠維持管理費 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1252 ポンプ場維持管理事業							
主管課 分野名	山崎浄化センター(浄化センター)	関連課	下水道課・都市整備総務課						
目標 (目標値)	自然勾配で流せない地域にある11箇所の汚水低地排水ポンプ施設の機能維持を確保する。								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
	水洗化人口	84,260人	83,333人	79,284人					
運営資源 状 況	決算値	1,154千円	1,155千円	1,171千円					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)								
	人員配置数	0.2人	0.2人	0.2人					
	人件費	1,789千円	1,882千円	1,783千円					
事務事業 運営経費	協働の パートナー								
	総事業費	2,943千円	3,037千円	2,954千円					
	市民1人当 りの経費	17円	17円	17円					
	対象者1人 当りの経費	35円	36円	37円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	逗子市	三浦市	単位
ポンプ場維持管理費	1,563	1,051	419	140	605	34	43	7	百万円/年
日平均流入汚水量	1369.0	484.7	163.9	58.0	137.0	31.7	23.2	3.9	千m <sup>3</sup> /日
送水コスト	3	6	7	7	12	3	5	5	円/m <sup>3</sup>
団体名	秦野市	伊勢原市	綾瀬市						単位
ポンプ場維持管理費	18	86	20						百万円/年
日平均流入汚水量	31.9	21.5	19.0						千m <sup>3</sup> /日
送水コスト	2	11	3						円/m <sup>3</sup>



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 包括的民間委託導入時に、低地排水ポンプ場の維持管理を含めた業務を委託化し経費の削減を図る。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 包括的民間委託導入に向けて委員会を設立し検討を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 包括的民間委託について、低地排水ポンプ場の維持管理費を含めた委託内容を検討している。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 平成22年度内の包括的民間委託導入に向けて検討し、低地排水ポンプ場の維持管理を委託化する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設機能の確保に努め、適正な維持管理を実施していく。</li> <li>集中監視方式の導入を図る。</li> <li>包括的民間委託を導入し、維持管理経費の削減を図る。</li> </ul>				
担当課長氏名:		浄化センター所長 原 秀広			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	包括的民間委託を導入し、コスト削減を図りつつ、引き続き適正な維持管理に努める。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		